∴
知財産敷童（ざしきわらし）語り部
∴

『着任の御挨拶（知的財産係長）』

「メールマガジン 知財産敷童（ざしきわらし）かわら版」を御覧いただき誠にありがとうございます。特許庁からの出向で5月から東北経済産業局知的財産室に着任しました長谷川博美と申します。出身は米軍横田基地のあるアメリカンな街「東京都福生市」（福が生まれると書いて「ふっさ」と読みます）というところでして、国道16号線沿いには飛行機を横目に多国籍なお店が建ち並ぶ異国情緒のある街で育ちました。東北にはゆかりはないものの、仙台にも松島に基地があるということで、ブルーインパルスを見るべく、8月の松島航空祭を今から楽しみにしております。

さて、特許庁では4月末まで普及支援課という部署で知財金融事業を担当しておりました。企業の持つ知的財産（注1）は売上の源泉となる技術力・ノウハウ・ブランド等である一方で、数字としてはバランスシート上には資産計上されないため、中小企業が持つ本来の企業価値全体が評価されていないのでは、という問題意識から、地域金融機関の皆さまに知財に着目した取引先企業の事業性評価や経営支援を行って頂けるように普及啓発等を行っておりました。昨年度は、東北経済産業局知的財産室でも金融機関向けパンフレット「金融機関による中小企業支援への道しるべ」を作成し、ホームページでも御紹介しておりますので是非御覧ください（注2）。

知的財産は無形の資産ですが、企業等が持っている「強み」でもあります。しかし、経営資源（ヒト・モノ・カネ・情報）に限りのある中小企業が自らこのような自社の強みを発見・発信したり、外部から把握・理解をするのはハードルの高い作業です。企業等が自社の知的財産（＝「強み」）を理解し、それを見える化して発信し、周りの理解を得て必要な支援を受け、事業成長に繋げるという好循環を少しでも多く生み出し、東北地域の知的財産の発展に貢献できるように微力ながら努めて参りたいと思います。

お仕事で携わる皆さまとのご縁を大切に、活かせる経験は活かしつつ、新たな知識を習得しながら日々精進したいと思います。これからお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。

<参考>

注1：知的資産・知的資産経営とは（経済産業省ホームページ）
https://www.meti.go.jp/policy/intellectual_assets/teigi.html

注2：「金融機関による中小企業支援への道しるべ」（東北経済産業局ホームページ）
https://www.tohoku.meti.go.jp/2004_tokkyo/topics/240517.html

※配信元：東北地域知財戦略本部事務局（東北経済産業局知的財産室）

※本コラムの無断転載を禁じます。